

令和 8 年度 都川水の里公園・稲作体験講座【第 5 回】

令和 8 年 9 月 27 日

第 5 回の活動は、前回の稲刈りで収穫し、「おだ」に架けて自然乾燥させた稲の脱穀作業を、12 組 33 人の皆さんで行いました。

初めに、事務局から本日のプログラムについて説明した後、脱穀作業の方法や昔から使われてきた脱穀道具の歴史について説明しました。また、脱穀には機械を使用する作業もあるため、作業中の事故を防ぐための KY（危険予知）活動や、熱中症予防についても確認しました。

その後、田んぼに移動し、おだから稲束を外して脱穀場所まで運びました。稲をすべて運び終えた後は、おだに使った資材も片付けました。

脱穀とは、乾燥させた稲穂から粃を取り外す作業です。今回は、昔ながらの「千歯こぎ」や「足踏み式脱穀機」、現在使われている動力式脱穀機「ハーベスター」を使い、道具や機械の違いを比べながら脱穀を体験しました。

「千歯こぎ」は、櫛のように並んだ鉄の歯の間に稲穂を通し、稲束を引っ張ることで粃を取り外す昔の農具です。稲をしっかり持って引く必要があり、子どもたちにとっては少し力のいる作業ですが、昔の人がどのように脱穀していたのかを実際に体験することができました。

「足踏み式脱穀機」は、ペダルを踏んで、針金の付いた円筒（こぎ胴）を回転させ、稲穂を当てることで粃を落とします。足でリズムよく踏みながら稲を扱う昔ながらの脱穀作業を体験しました。

一方、「ハーベスター」は、稲を機械に入れると脱穀から粃とわらくずの選別までを効率よく行うことができます。昔の農具と現在の機械を実際に使い比べることで、脱穀作業が時代とともにどのように変化してきたのかを学ぶ機会にもなりました。

参加者とスタッフが協力して作業を進め、脱穀した粃の量は、昨年よりやや多かったようです。脱穀後の稲わらは束ねて倉庫へ運び、おだも撤去して作業を終了しました。

今回も、けがや熱中症などもなく、無事に活動を終えることができました。参加された皆さま、お疲れさまでした。次回は、10 月 4 日に「粃摺り・芋掘り」を行います。



おだから稲束を外して運ぶ



おだから稲束を外して運ぶ



おだの片付け



おだの片付け



足踏み式脱穀機の体験



足踏み式脱穀機の体験



千歯こぎの体験



千歯こぎの体験



ハーベスターによる脱穀



ハーベスターによる脱穀



脱穀後の稲わらを束ねる



脱穀後の稲わらを束ねる